

"Dance with Heart"

We are burning with enthusiasm

in creating national art for the new era.

The Kikunokai Dance Troupe

Representative : Satoshi Hata

日本のおどり

発行：舞踊集団 菊の会

〒161-0031

東京都新宿区西落合 2-21-23

03-5983-6001 (代表)

菊の会京都八瀬研修所

〒601-1254

京都府京都市左京区八瀬野瀬町 10

075-712-8701 (代表)

<http://www.kikunokai.co.jp>

Dancing from the heart



創立者
畑 道代



ごあいさつ

舞踊集団 菊の会
代表
畑 聡

時下益々ご清祥にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

この夏、創立者畑 道代の七回忌を迎えました。新生菊の会として新たなスタートを期して六年、皆様のご厚情によりまして今日まで走り続ける事が出来ました。

明年創立四十五周年を目前に控え、団員一同が更なる結束を以って努力と精進を重ねて参りたいと存じます。

今後共ご支援を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

師匠を語る

「一流に求められるものは、自身の期待以上のものである」



映画監督
小泉 堯史

2016年夏、菊の会では創立者畑道代の七回忌を迎えるにあたり、生前自身が「最も思い出に残る仕事となった」と語っていた黒澤明監督の映画「夢」の時からお世話になり又、2014年畑聡代表が振付を担当した映画「蜩ノ記」の小泉堯史監督にお越し頂き語らいの一時を持つて頂きました。

畑聡 ご無沙汰しております。今日はお忙しい中大変に有難うございます。

小泉堯史 いやいや、こちらこそ。

畑 この間、ペルーから帰る時に飛行機の中で『蜩ノ記』を久しぶりに観ました。

小泉 そうですか、機内ですか。いいなあ。僕も行きたくて仕方ないんだけど、まだ行っていないんですよ。ブラジルは行ったことはあるんだけど。ペルーはもうダメかな、足が弱っちゃって。(笑)

畑 去年、日系人協会の周年行事に外務省の国際交流基金の助成事業として行きました。その1年ほど前に日系人協会の会長さんが日本にみえた時に大使館を通じて会いたいと言われて会いに行ったら、

「ペルーにも日本の文化はいっぱいあるけれども、日本の踊りの先生

が高齢の為教える方がいなくなっていました。」との事で、「ペルーで踊りを教える指導者を作りたい。なので半年間、誰か来てくれないか。」と言われて。半年間行くのは難しいので：

小泉 それでどうしたの？

畑 定期的に何回かに分けて10日間ずつ行く事にしました。今年は3月と6月に行って、次回は9月と11月に行きます。

小泉 そうですか。行くのが大変でしょう。どうでした？

畑 皆さんとても日本に憧れを持って下さっていました。一生懸命お稽古をして下さいました。うちも海外公演は延べ56カ国へ行きましたが、海外でお稽古するのは初めてでした……

小泉 はーそれは大変ですね。

畑 監督は、ブラジルのどちらに

美しい舞、菊の会の 舞踊芸術に魅せられて



山形市 東村市長 渡部 尚

菊の会の皆様には、舞踊を通して日本文化の継承および振興にご尽力をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

菊の会におかれましては、これまで56ヶ国97都市で舞踊を披露され、その芸術性の高い舞踊は国や人種、老若男女を問わず多くの人々を魅了し、

数々の素晴らしい功績を積み重ねておられます。

特に、文化庁「文化芸術による子供の育成事業」として、小学校・中学校等への巡回公演を行い、子どもたちに対し質の高い文化芸術を鑑賞・体験する事業などにもご尽力され、子どもたちが、日本の伝統文化に触れる機会となることは大変貴重なものであり、このような素晴らしい活動を継続されていることに、深く敬意を表します。

東村山市と菊の会の繋がりは大変深く、日本国内はもとより、今や海外にも広がる菊の会の教室第一号が東村山市ということで、大変誇らしく思います。

また、今から三十六年前に当市初となる本格的舞台を備えた、東村山市中

1面から続く
行かれたんですか？

小泉 サンパウロです。『雨あがる』の時でした。映画祭に呼ばれて。

畑 海外での映画祭にはよく行かれるんですか？

小泉 この間もインドネシアで『蜩ノ記』を上演するというので。

畑 そうですか。インドネシアでの反応は如何でしたか？

小泉 いやー、よく理解してくれて。想像力も豊かで観る力がある方達だと思えました。字幕でみるわけだから…いやー良かったなあ。

として難しいですよ。

ターゲットを絞ってお客を呼びたいと…化粧品じゃあるまいし。

本来映画では、ターゲットなんて考えなかったでしょう？

黒澤さんは『夢』のターゲットを誰だなんて考えもしなかったでしょうし。今は作り方が非常に変わってきていますよ。



畑 道代と黒澤明監督

「良いものを感じる心」

畑 うちも最近は毎年新しい作品、大作の舞踊劇ができないのは、やっぱり集客が難しくなっているし…。制作の費用を考えると、どうしても再演のものが多くて…。

そんな中で、公演のアンケートに埼玉からみえた方で農家に嫁がれた40代ぐらいの女性が、「毎日毎日のお仕事が本当に大変なんです。」って。その公演の中に岩手県の「百姓踊り」って、昔ながらの農作業を単純にやっていく踊りなんですけど、それを見た時に「私はそこにいる！」ってすごく思ったと。それで、菊の会の踊りを通

中央公民館が完成した際に柿落とし公演を行っていただき、開館に華を添えていただきました。そしてそのご縁から、本年の三月に耐震工事を終え、リニューアルした中央公民館の記念式典にて再びご公演いただきました。式典に参加した市民の皆様から、大変ご好評いただき、私も熱意の伝わる美しい舞踊に魅せられ、とても感動致しました。

畑 聡代表をはじめ、今は亡き創立者畑道代先生の思いを引継ぐ菊の会の皆様の踊りに対する熱意、そして個性とチームワークが生み出す美しい舞台は圧巻であります。踊りは、体で喜びや悲しみを表現し、世界共通で感じることで出来る素晴らしい芸術だと私は思います。菊の会の皆様には、これからも日本の素晴らしい伝統を継承していただき、日本の美しい文化「舞踊」を世界中の皆様に向けていただきたいと思っています。

結びに、畑代表をはじめ、舞踊集団菊の会の皆様のおますますのご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

畑 へー、そうですか。映画祭があった時は前後にレセプションとかあるんですか。

小泉 ありますね、それと日本映画はアニメが人気で、その上映も盛んですね。インドネシアの日本映画祭は文化庁の主催でした。

「『作品』と『興行』と」

畑 次の作品は何かお考えなんですか？

小泉 いやー、なかなか進まないんですよ。もう三本ぐらい書いたかな。

じて土に対して愛情とか改めて自分で感じて、「いままで嫌だと思っていたのに、人生観が変わった。」と書いて下さったんですね。

小泉 それは嬉しいですね。

畑 ものすごく嬉しかったですよ。みんなでそれを読んで、たとえ一人でもこういうふうに通じて下さる方がいたら本当に私たちのやっている事にも意味があると嬉しく思いました。

小泉 黒澤さんが『羅生門』って映画を撮った時、奈良のお寺で林の中を歩く人物に光を当てたくて、撮影に邪魔な木の枝を切っていたんですね。

畑 そうなんですか。僕もいままで、小泉監督の映画を拝見する度に本当に清々しいっていうんでしようか、日本人で良かったって…。小泉 でもそういうのってインドネシアの人達も感じてくれるんですよ。それは嬉しいですね。

畑 日本人の精神性はこういうものなんだなって理解してくれるんですか？

小泉 してくれるんですね。感じ取ってくれる。黒澤さんはよく感じるのが大事だっていうじゃないですか、映画は考えるより感じ取るものなんです。踊りと一緒なんじゃないですか。見てる人が心で感じ取って感動して頂けるといいうのは。



これではお客が呼べないとか、若い人が興味を持てないとか…。原作が良くてもそれだけではダメで、本がどれだけ売れるとか、それからキャストは誰が出るか、そのキャストではどれだけ客が呼べるのかとか、それらのデータを全部調べた上で会議に諮って決めるらしいですよ。

畑 自分が全部責任持つって方はないんですよ。

小泉 難しいでしょうね。

また黒澤さんのような人もいませんしね…。今は、キャストینگが非常に大事なのかな。例えばジャニーズの

「いつでもクビにして下さい」

黒澤監督と畑先生の出会い

畑 あ、『夢』のお仕事の時、黒澤先生からご連絡下さった時、当時の助監督の米田さんって方がいらっちゃって。小泉 そうそう、ヨネちゃんね。一生懸命調べたんですよ。(畑先生の事を) たしか彼は筑波大の先生に相談したんです。と同時に野上さん(黒澤組のベテランスタッフ)も文化庁に相談した。二つが不思議な事にぴったり合ったんですよ。

畑 当時、うちの先生は二回お断りしたんですよ。最初電話頂いて、それを僕が取り次いで、先生に言ったら「私はとてもお受けできないわ。」と仰ったので、僕から丁寧に断りしたんですよ。でも、それからもう一度頼みに来られて、その時もうちの先生はお断りしたんですよ。そうしたら文化庁の方から今度



取材を受ける黒澤監督(左) 笠智衆(中央) 畑道代(右)



映画「夢」撮影中 打ち合わせ

は電話があつて、「畑さん、頼みがあるんだけどこれは断らないでね。」って、そして「何のことかわからないけれどやります。」って云つたらこのお話だったんです。一度、二度お断りしたのにどうして諦めずに粘って頂いたんでしょうか？

小泉 いやいや、だってそれは助監督はどなたにお願いすればいいかって大きな問題なんです。しかも未経験な事です。しかも黒澤さんの意見をきちんと受けとめて、それをどういう風にやって頂けるか。既成のところだとなかなかそういう方は見つからない。それで相談したら、畑先生のところが一番良いって事になったんです。

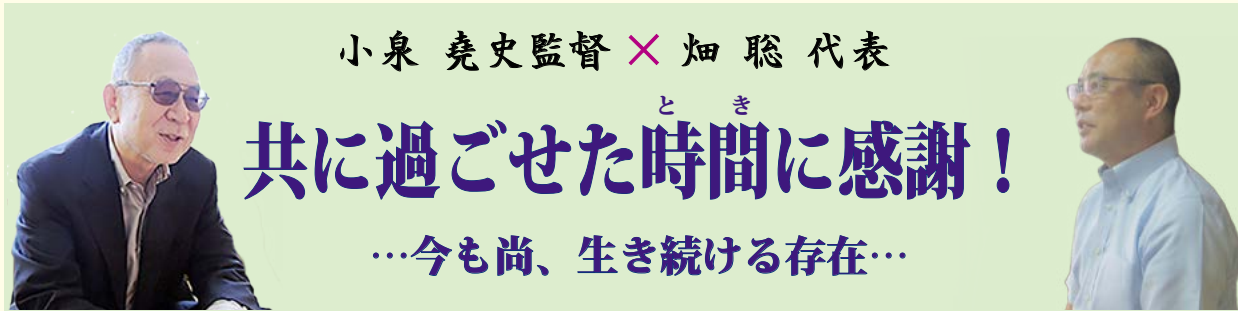
野上さんも文化庁に行つて、黒澤さんの映画でこういう内容でこういうイメージでやるんだけれども、それはどなたに相談したら良いですか？つて、両方から菊の会

畑 畑先生もなんとか黒澤先生のイメージに近づこうとされてたんだと思います。小泉 『夢』の絵コンテを開いて、たぶんこういうのを見ながら相談されたんだと思いますよ。畑 僕も絵コンテを見せて頂いて感動しました。小泉 黒澤さんはどのように撮りたいかイメージが明確な監督なんですよ。それに合ったものを突き詰めて探求するんです。だから、これをきちんと受け止めてくれる人に巡り合える事が大事なんでしょうね。

畑 この狐のメイクになるまでいろいろありましたね、当時の渋谷の稽古場で石膏で顔の型をとったり。小泉 そうそう！お面も作ったりしましたね。畑 いろいろ試したりして、結局あの



映画「夢」 桃畑



小泉 堯史監督 × 畑 聡 代表 共に過ごせた時間に感謝！

…今も尚、生き続ける存在…

の畑先生が一番いいんじゃないですか？、そうになったら一生懸命になるじゃないですか、そこをはずしたら大変だつて（笑）。その後、もっと大きな問題は、お願ひできたからつて安心してはいられない。その後、とにかく黒澤さんにお会いして頂かない事には。畑 最初は確か横浜のフィルムスタジオオに伺つたんですよ、僕も一緒に行かせて頂きました。うちの先生は開口一番「もしダメでしたらいつでもクビにしてください。」つてお伝えしたんですけどね、そしたら黒澤先生は大変優しく「相談しながらやりましようよ。」つて仰つて下さつて、その一言で畑先生はすぐくホツとしてお引き受けになりました。

うちの先生も映画の世界はわからないし、黒澤先生のいろいろなイメージがあつて怖い方だと思つてましたから。でも、よく畑先生が仰つてましたけど、「しばらくお目にかかつてたら黒澤先生の仰ることは全然怖くない。」畑先生の師匠である初代の「尾上菊之丞先生はもっと厳しくて、怖かつた。」と。でも仰つている事はすごく正しいからつて行けたと。だから黒澤先生のお仕事もすごく楽しかつたと思つていました。

「一流の感性」小泉 黒澤さんはとっても優しい所があるから：特に女性に優しい。第一印象が大切なんですよ、最初の直観的な印象というか、ダメとなるとその

メイクアップになりましたね。

あと桃畑の撮影の時に黒澤先生が書かれた絵コンテの顔が一人一人違う事にうちの先生が感動されました。

小泉 この絵コンテを見せられた時、助監督として準備をどうしたらいいのかわからないイメージなのか、誰に振り付けを頼んで良いのか見当もつきませんでした。

畑 うちの先生もこれに近づくにはどうしようかと初めは振り付けにかなり悩まれていました。野上さんや小泉監督がもう一度黒澤先生に伺つた方がよろしいのではと心配されて僕に言つて下さつて、うちの先生に言つたら「いや、一流の方にはそう簡単に聞いてはいけないのよ。」と仰つて、振付してかなり不安もあつたようですが、現場では一発でOKして頂いて。小泉 そうでしたね。狐のメイクもOKが出て、準備する方も本当にホツとしました。

「イメージを昇華する」

畑 黒澤先生はこの人と思つたら本当に信用して下さるんですよ。この『夢』の時には小泉監督は踊りをご覧になつてうちの先生の振りについてうのはどういうふうに思われたんでしょうか？

小泉 いや僕なんか、黒澤さんがOKならOKですから自分がどうのこうのつていうのはないんですよ。



在りし日の黒澤明監督

人がいないかの様な目線ですから。だから最初の出会いが良かったんでしようね。黒澤さんは、本当のプロをエキスパートつて言い方して、そういう方を大事にするんですよ、すべてにわたつて。だから、畑先生と相談したかつたんですよ。

畑 黒澤先生はすごく尊重して下さるといふんでしようか、映画『まあだだよ』（1993年黒澤作品）の時も畑先生を呼んで下さつて、それで僕も付いて行つたんですけど。宴会の場面で踊りという程の事でもなかったのですが、振付という立場をもものすごく尊重して下さつたんですよ。

小泉 本当に、尊重する。その道で一流の方をね。みなさんもそうですけれど踊りの人達は姿が美しいじゃないですか、黒澤さん、お能が大好きでしたから。畑先生を見ても美しい方だかつて感じたからこの人と一緒にやつてみようつて思われたんでしょうね。



在りし日の畑 道代

極端な話、黒澤さんの映画が見たいつただけですからね。そりゃスタッフの中には多分あると思うんですよ「俺だったらあーやるこーやる。」つて。でも僕は黒澤さんと畑先生、ご両人が満足してくればそれでいいわけですよ。

いかに黒澤さんが掴んでるイメージをきちゃんと黒澤さんご自身が満足してフィルムに掴まえられるかっていうのが一番大事でね。それに一緒に撮られた畑先生が存分に振り付けをして下されば僕はもう：OKですよ。

畑 でも畑先生にとつてこの映画に関わらせて頂いた事が生涯の中ですごい経験になったと大変に感謝されておられました。

「姿の美しさ」

畑 話は変わりますが、小泉監督は黒澤先生のところには何歳から行かれたんですか？

小泉 1970年、26歳くらいじゃなかつたかな。

畑 最初から助監督として入つたんですか？

小泉 そうですね、もともと若い時はそんなに映画を見てなかつたんですよ。最初写真をやっていて。それから映画の勉強をしてみようかなと思つて、黒澤さんの作品に出会つて黒澤さんのところで学んでみたいなと思つて。飛び込みです。なんのあてもないけど仕事させてほしいつて頼みに行つたんですよ。

黒澤さんが海外で仕事があつて5人ぐらいのスタッフを連れて行つたんだけど、僕は連れていってもらえなくてね、そのうち黒澤さんが帰つてきて一緒にやらないかって言われて、それからで

その道の事はその道の専門の方にきちつと相談する事です。黒澤さんのように見極める事は出来ません。例えば、天気だつてね、御殿場にいる農家のマゴさんの言う事をすごく大事にする、天気予報で調べてもマゴさんに確認してつてなるんですよ。長年の経験で山のどこに雲が出ると今日は天気が悪いって、長年の経験を積んでいる人を非常に大事にします。まず、僕たちの信用がないから（笑）。だから、監督に何か通したい時には「畑先生がこう仰つてました。」つてね、そうするとすぐに通るとかね。

「イメージをかたち」

小泉 『夢』の撮影は特に最初の二話、二話がきちんと進められるかどうか大事だつたんですよ。「狐の嫁入り」も黒澤さんのイメージを踊りとして見事に具現化して頂けた。そこから黒澤さんと畑先生の信頼関係が築けたんですよ。

畑 あの時も、天気待ちで時間がかかつて、黒澤先生がキツネに扮している僕達に氣を使つて下さつて、今日はもうやめようつて仰つて下さつたんですが、畑先生が「うちの人達は大丈夫ですから。」と申し上げて、待ちましようつて事になつて、結局晴れたんですよ。

小泉 そうそう、あの時は奇跡的に晴れましたね。風があつてもダメだし、斜めの光もあつて、本当に良かった。今はあういう撮影はないですよ。天気待ちみたいだね。

その日の天候がちよつと撮影に不適切でも撮つてしましますからね。スケジュールも限られてますし。



映画「夢」 桃畑の絵コンテ（絵ハガキより）

すね。様々な作品を一緒にさせて頂いて、『乱』の次はどんな作品やるのかなつて思つてたら、『夢』をやるよつて言われて。

黒澤さんは別荘に一緒にいる時、よく夢の話をするんですよ。毎朝よくこんなに夢覚えてるなつて、「小泉、夢見なの？」「いや見ますけどそんなに覚えてないですよ。」つて。（笑）

でも撮影の時はみんな楽しみにしてました、菊の会が来るつていうのを。

畑 どうですか？

小泉 いや、だって現場には男しかいないんですよ。だから着物を着た美しい人達が颯爽とくるとね、スタッフは楽しみです。

畑 あの時、撮影現場に畑先生は着物で行くかどうかすごい悩んでたんですよ。振付だから着物で行つた方が



いいのではないか、でもかえって氣を使わせちゃうんじゃないか、とか考えて、今回は裏方だから洋服で行こうって事で、僕らにとっても画期的なことでしたね、お洋服で行かれたのは。
小泉 お洋服でも美しいんですよ。姿が美しいですよ、言葉は似せやすいけれど姿は似せにくい。要するに言葉というのは人から聞いただけでも色々話せるけど姿っていうのは早速には美しくはならないでしょう。そういう点で、姿の美しさっていうのは本式に踊りとか武術をやって鍛えてる人達は違うんじゃないですかね。日常生活の全てが美しいんでしょう、きっと。

「温故知新」と「変わらなければいけないこと」 変えてはならないこと」

畑 また別な話ですけども、今後の菊の会の方向性について何かありますでしょうか？

小泉 いやいやそんな事は言えないで



畑 道代・畑 聡

すよ。あの、黒澤さんが言ってたんですけど、温故知新って言葉があるでしょう？

「故ふるきを・温あたためて・新あたらしきを・知る」っていうのかな。そういう事を非常に大切にしていますね。また俳句も好きですしね、黒澤さんは季節感も大切にされる方です。歴史と伝統もきちんとふまえていました。「歴史と品格は金では買えないよ」と仰ってね。今を生きる人達の心に、歴史の中に生きた人達の心が伝わるっていう事が大切なことなんじゃないですかね。伝統芸能ってそういう所もあるでしょう、観る人々の心に何か響くものがあるはずですからね。

畑 そうですね。僕達、文化庁事業の学校公演で小・中学校を回ってるんですけど、やっぱりこの日本の伝統芸能に初めて触れる、もしかしたらもう一生触れない子も居るかもしれない。あの地方の少人数の学校に行っただけですけど、僕達の踊りを見たら「すごくかっこよかった、綺麗だった。」と感想書いてくれたんです。更にはその子供たちが村に伝わる芸能がある事を思い出し、「それをやりたい」と言ったんですよ。それでその子達が習うようになったんです。

僕達をきっかけにその地域の踊りに目が向いて、やろうって思ってくれたってことが何よりも嬉しかったですね。

小泉 でもそういう道があるって素晴らしいじゃないですか、僕らはそれを撮るほうですから。

畑 うちの先生も言っていました「絶対に覚えちゃいけないことと、変えていかなきゃいけないことがあって、そういう事をしっかりしていかないと頭が

上海市舞踊学校との文化交流会！

昨年暮、中国最高峰の舞踊学校である上海市舞踊学校の御一行38名が中国大使館からの要請により菊の会スタジオを来訪されました。18歳〜23歳の優秀な若者達と菊の会の公演メンバーとの交流会は大変有意義なひと時となりました。ここに終了後寄せられた感想文を紹介致します。

菊の会の団員さんはみんな優しく、親切で、細かいところまで配慮して下さい、すごく感動しました。菊の会の日本伝統舞踊は華麗そして活発な動き、古典的な美しい曲調に従っての典雅な動き、リズム感の強い太鼓もあり、非常に印象深く、ずっと頭に刻んでおり忘れられません。
张炎心子

こんな近くで日本の伝統的な舞踊を観賞するのは初めてです。豊作、お祝いなどの意味のある舞踊で、出演者の自然的な笑顔と動きは一つはつきりと見えて、心から舞踊を愛することを深々と感じます。
鑑賞後には日本の伝統的なお食事も準備して下さいいろいろ考え手配して頂き本当に感動しました。
陈 曦



交流会終了後 上海市舞踊学校の皆様と

今でもわくわくしています。日本の都市はとてもきれいです。日本人の真剣な態度は印象深いです。日本伝統舞踊を次から次へと伝えることで情熱と信念が深々と感じられました。
そして、私も中国の伝統舞踊をさらに発展させ、輝かしいものになりたいと思いました。私たちの努力で、必ず実現できると思います。
王 萱



写真中央 団長 李 莹 ・左 副団長 杨 新 华
右 菊の会代表 畑 聡



固くなって歳を取ってしまう。」と：

小泉 黒澤さんは歳って事を言わないんですよ、歳取ったつていくつになっても聞いたことないですよ。まだやる事がある、まだやれる事がある、もっともっと美しい映画を撮りたいと仰って：

「『師匠』と共に」

畑 黒澤監督との素晴らしいお仕事を、僕たちの師匠である畑道代先生と共にさせて頂けて、そして僕達はまたこうやって黒澤先生を師と仰ぐ小泉監督とのご縁を続けさせて頂けて、本当に感謝しています。

小泉 黒澤さんと仕事が出来たのは僕にとつて非常に嬉しい事です。その時間を一緒に過ごせたって事がね、それだけで十分生きて行けますよ。

畑 僕は最近みんなにも言ってるんですけど、「自分の師匠の事を、思い出しにしないでいこう。」と、「今ここにいらっしやったら何が作りたいと仰るのか、今僕らがやってる事はこれでいい



学校 小方 啓史
校長 山田 千穂

去る6月23日、舞踊集団『菊の会』の方々による公演『日本の心を躍る』が、文化芸術による子ども育成事業「巡回公演事業」として本校で開催されました。

内容は、第1部が「お祝いの舞と太鼓」、第2部が「日本の心を躍る」という2部構成でした。
公演が決まった当初は、舞踊という言葉から、ゆったりとしたテンポの踊りをイメージしていましたが、しかし、5月のワークショップ、今回の公演での踊りは、イメージとは全く異なり、大変テンポがよく、また華もあり、予定していた時間が瞬く間に過ぎていった感じでした。



感動！

『菊の会』公演

後日、子どもたちが書いたお礼の手紙に目をとおしたところ、オーブニングの『寿獅子』、楽器紹介後に演奏していた軽快な『阿波踊り』、米作りの1年間を表現した岩手県の『百姓踊り』等が心に残ったという感想が見られる中、高千穂町の伝統的な神楽の影響からか、迫力ある和太鼓の演舞『祝い太鼓』のことや、本校の5・6年生が菊の会の方々と共演したフィナーレの『ふるさと囃子』のことを書いている子どもが特に多くいました。

本校のような小規模校の子どもたちにとつて、人前で自分を表現することは大変貴重な体験となります。また、各演舞で見せていただいた華やかな衣装と菊の会の方々の終始変わらない笑顔が深く印象に残っている子どもも多く、まさに『日本の心』を感じることができました。保護者や地域の方々も「素晴らしいものを見させていただいた」と大変満足されていました。

今回学校行事等の関係で、公演期日を何度も調整していただきましたが、開催していただいたことに深く感謝しています。また、遠く高千穂の地までお出でいただき誠にありがとうございました。

のか。」と常に思っ、進んで行こうと思っんです。

小泉 これから大事じゃないですか。

畑 本日はお忙しいのにすみませんでした。

小泉 また遊びに来ますよ。頑張ってください。

畑 お待ちしております、長時間本当に有難うございました。

こいずみ たかし
小泉 堯史 プロフィール

茨城県立水戸第一高等学校、東京写真短期大学（現・東京工芸大学）写真技術科、早稲田大学卒業。早大卒業後の1970年、黒澤明に師事し、28年間にわたって助手を務める。黒澤の死後、その遺作シナリオ『雨あがる』を映画化し（2000年公開）監督デビューする。この作品でヴェネツィア国際映画祭の緑の獅子賞、日本アカデミー賞で作品賞をはじめとする8部門で受賞。さらに2002年の『阿弥陀堂だより』でも日本アカデミー賞を2部門受賞するなど、現在最も注目される映画監督の一人である。

日本文化の凝縮された姿 それが『菊の会』なのだ

音楽評論家・ライター
プロデューサー・ラジオ DJ
上田 和秀



『菊の会』、何て日本的な響き。
名は体を表すと言うが、正に日本を代表する舞踊集団であり、日本の古典文化を知るには最高の演目を毎回繰り広げる。確かに、『菊の会』は舞踊集団ではあるが、演目は全国各地の踊り・民謡・狂言・歌舞伎等古典芸能全てにおいて多岐に亘る。『菊の会』は、舞踊集団であり、日本そのものを表現する集団なのだ。
だから、『菊の会』に触れると日本人としてのDNAが刺激を受け、アイデンティティを呼び起こす。日本人が、古の時代から引き継いで来た日本の文化・心がここにある。温故知新の考えからすると、現在の若者に是非とも体感して欲しいエンターテインメントなのだ。
日本人の体の中に流れるリズムやメロディは、唯一無二の物なのであり、そのことを日本人としての感性で感じる事で、自身のルーツを知る事となり、母国日本を再確認し、愛する事にもつながる。
『菊の会』は、今や若手メンバーの躍進が光り、常に先輩を見習い、芸を磨く事に意識を集中している。若者が頑張っている所は、必ず進歩し進化する。ベテランと若手のバランスの取れた『菊の会』だからこそ公演の度に新しい演目に挑戦し



観る者を魅了し飽きさせないのだ。
古い演目がつまらないと言う考えこそ古い思考であり、そこに新しい何かを見つけた事が、現代人に与えられた新しいセンスなのだ。今日本が直面する世代格差という問題の解決策が、『菊の会』での交流なのかもしれない。
『菊の会』という日本に於ける貴重な存在こそ、日本の故郷なのかも知れない。故郷とは、ある場所だけを指すのではなく、心の中にも存在するものなのだ。だから、『菊の会』に触れると何処か懐かしさを感じる。
この感覚こそが、先に述べた日本人のDNAが反応し、体の中で化学変化をもたらし、日本人であれば誰でも感じられる古き良き日本の姿を呼び起こすのだ。同様に、現在日本に興味を持ち、日本文化に触れたいと考えている外国の方々にしても、『菊の会』程日本を感じる体験が出来る所は何処を探しても無いので、日本を経験したいのなら、まずは『菊の会』の門を叩く事をお勧めする。
日本が世界に誇る伝統文化を知り、本物の日本の姿を理解して欲しい。
結論、『菊の会』とは、日本の心を表現する集団なのである。

平成 28 年菊の会公演予定 INFORMATION

国立劇場開場五十周年記念
『道成寺の舞踊』 新邦楽 道成寺昔語
日時：9月10日(土) 午後5時
会場：国立劇場 大劇場(東京都千代田区)

韓国公演
『日韓交流おまつり 2016 in SEOUL』
日程：10月2日(日)

平成 28 年度 文化庁事業
文化芸術による子供の育成事業
—巡回公演事業—
日程：10月11日(火)～24日(月)
鹿児島県の7校を巡回

舞踊集団菊の会 長島町公演・種子島公演・沖永良部島公演
『日本のおどり』

日程：10月13日(木)
会場：長島町文化ホール(鹿児島県出水郡)

日時：10月21日(金) 午後6時30分
会場：西之表市民会館(鹿児島県西之表市)

日時：10月24日(月) 午後6時30分
会場：おきえらぶ文化ホールあしびの郷・ちな(鹿児島県知名町)

スリランカ公演
日程：11月2日(水)～8日(火)

舞踊集団菊の会公演
『日本のおどり』
日時：11月19日(土) 午後2時/午後6時
会場：成田市文化芸術センター(千葉県成田市)

舞踊集団菊の会 東北公演 東日本大震災5年 心の復興支援
『日本のおどり』

日時：11月24日(木) 午後1時
会場：かくだ田園ホール(宮城県角田市)

日時：11月25日(金) 午後2時/午後6時
会場：仙台市太白区文化センター
楽楽ホール(宮城県仙台市)

舞踊集団菊の会公演
『日本のおどり』～伝統と創造～

日程：12月1日(木)
会場：キラリ☆ふじみ(埼玉県富士見市)

日程：12月4日(日)
会場：鹿嶋勤労文化会館(茨城県鹿嶋市)

日程：12月7日(水)
会場：和光大学ポプリホール鶴川(東京都町田市)

◆予定が変更になる事があります。予めご了承ください。